



ニュースレター

No.3

発行日 2010年11月

1 ごあいさつ

フォローアップ調査へのご協力、ありがとうございます。今年の初めに調査させていただいたデータの整備も終わり、本格的な分析に向けて、鋭意準備を進めております。みなさまの毎年の状況を把握するフォローアップ調査によって、今までの調査ではわからなかった家族の実態をとらえることができるようになります。今後ともご継続いただけますよう、よろしくお願いいたします。

また、来年1月ごろに次回のフォローアップ調査を行います。郵送でアンケート調査票を送らせていただきますので、よろしくご協力ください。今後も、アンケートの回答および、みなさまのお名前やご住所といった個人情報、調査会社が厳重に管理し、他所にもれることはありません。

今回のニュースレターでは、2時点のデータがそろったことから、みなさまの変化についても少しだけ紹介したいと思います。

2 内閣府のメールマガジンに取り上げられました

本調査の活動が、内閣府・仕事と生活の調和推進室が配信しているメールマガジン「カエル！ジャパン通信」のVo1. 13に掲載されました。

今回のメールマガジンのテーマは「家族」で、統計・調査トピックスとして紹介

されています。記事では、親と離れて暮らした経験と、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という家族観についての調査結果が紹介されています。

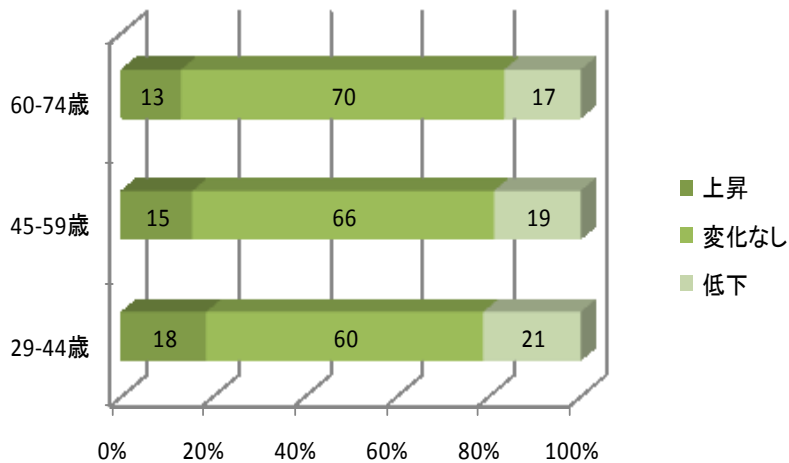
内閣府・仕事と生活の調和推進室「カエル！ジャパン通信」バックナンバー
<http://www8.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/013/index.html>

3 調査結果のご紹介

生活満足度の変化

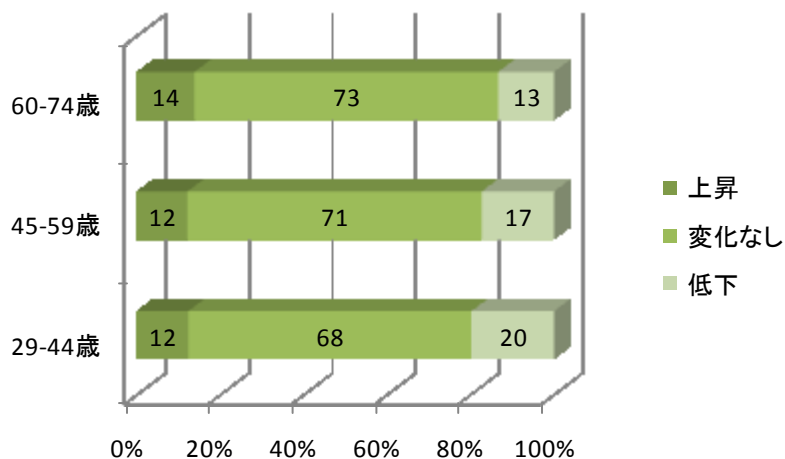
毎回の調査で、生活全体の満足度について質問させていただいております。さて、第1回から第2回にかけて1年間でどの程度変化したでしょうか。

男性



上の図は男性の数値をグラフにしたものです。年齢が上がるほど「変化なし」が多くなるのがわかります。若い世代では「上昇」も「低下」も多く、生活満足度の変動が大きいことがわかります。

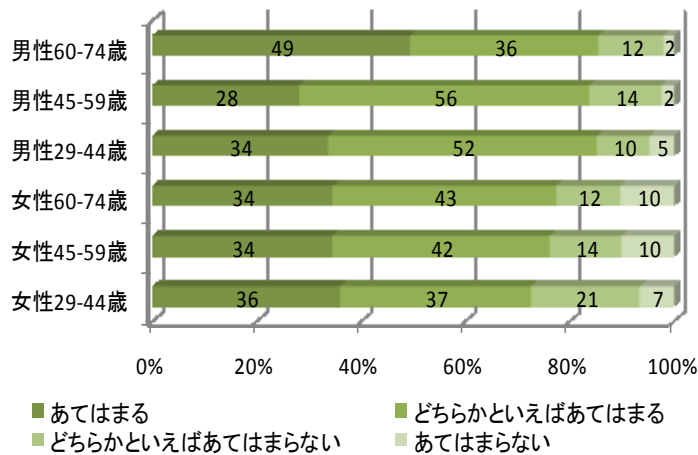
女性



では、女性はどうか。上の図は女性の数値をグラフにしたものです。女性も年齢が上がるほど「変化なし」が増えます。また、「変化なし」の割合は男性よりもやや多めです。29-44歳の「上昇」が同年代の男性に比べて少ないのが目につきます。

夫婦間のコミュニケーション

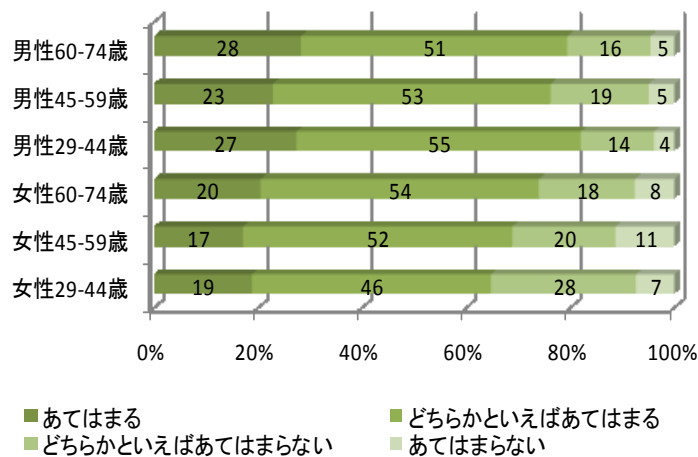
配偶者は、わたしの心配ごとや悩みごとを聞いてくれる



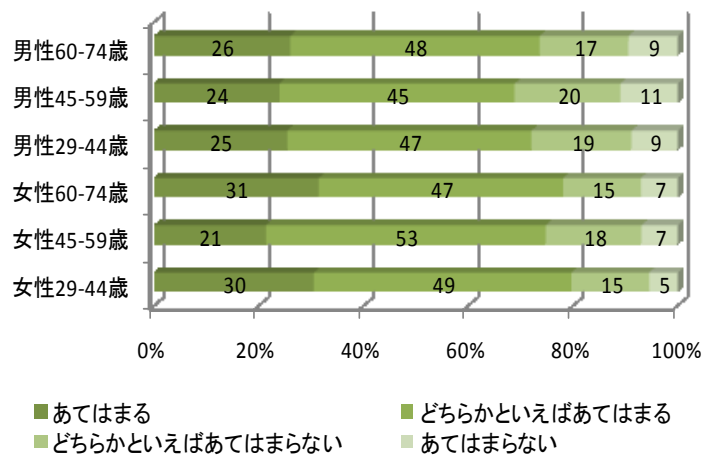
第2回の調査から夫婦間のコミュニケーションに関する3つの質問を取り上げてみました。

心配ごとや悩みごと、能力や努力については、男性のほうが女性より聞いてもらったり、評価してもらったりしているようです。ただし、大きな差とはなりませんでした。

配偶者は、わたしの能力や努力を高く評価してくれる



配偶者は、わたしに助言やアドバイスをしてくれる



助言やアドバイスについては、女性のほうがしてもらっている割合が少し高いようです。こちらも男女差がそれほど大きいというわけではないようです。

4 NFRJ-08パネル実行委員会から

NFRJ-08パネル実行委員会では、みなさまからいただいた貴重なデータを有効に利用するため、定期的に研究会を開催しています。

右の写真は9月の研究会の様子です。その他の活動については、NFRJ-08パネル実行委員会ホームページで紹介しています。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。



NFRJ-08パネル実行委員会ホームページ

<http://www.wdc-jp.com/jsfs/committee/contents/followup.htm>

- ★ 転居なさった時は、お手数ですが、下記までお知らせください。

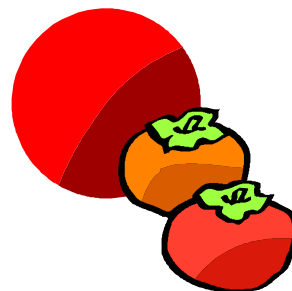
社団法人 中央調査社

〒104-0061

東京都中央区銀座6-16-12

0120-48-5351 (フリーダイヤル)

<http://www.crs.or.jp>



本調査でお送りする郵便物にはこのロゴがついています

〈実行委員会メンバー〉

西野理子 (東洋大学) 〈委員長〉

永井暁子 (日本女子大学) 〈事務局長〉

田中慶子 (家計経済研究所)

田中重人 (東北大学)

筒井淳也 (立命館大学)

松田茂樹 (第一生命経済研究所)

水落正明 (三重大学)

三輪 哲 (東北大学)

保田時男 (大阪商業大学)